allcinema

ヘンリー＆ジューン／私が愛した男と女（1990）

HENRY & JUNE

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 136分
初公開日 1991/01/15
公開情報 Ｕｎｉ＝ＵＩＰ

【キャッチコピー】
知的エロティシズムが香りたつ…

【解説】
アナイス・ニンの回想録を基に、彼女と無名時代の作家ヘンリー・ミラー、そして彼の妻ジューンとの妖しく歪んだ三角関係と性愛を官能的に描いたドラマ。監督は『存在の耐えられない軽さ』のフィリップ・カウフマン。出演は『トレマーズ』のフレッド・ウォードと『キル・ビル』のユマ・サーマン。
１９３１年、パリ。銀行家ヒューゴーの妻アナイス・ニンは、無名の作家ヘンリー・ミラーと出会う。２人は互いの妖しい魅力に惹かれ合うが、アナイスはその後ニューヨークからやって来たヘンリーの妻ジューンにも強く惹かれ、同姓でありながら抱きたいという妄想に駆られるのだった。そしてある時、アナイスはついにヘンリーと体の関係を持ち、これをきっかけに文学の才能も開花させていく。やがて、ヘンリーの処女作“北回帰線”が発表され、再びヘンリーのもとを訪れたジューンにも愛を告白するアナイスだが…。

【クレジット】

監督	フィリップ・カウフマン	Philip Kaufman	
製作	ピーター・カウフマン	Peter Kaufman	
原作	アナイス・ニン	Anais Nin	
脚本	フィリップ・カウフマン	Philip Kaufman	
	ローズ・カウフマン	Rose Kaufman	
撮影	フィリップ・ルースロ	Philippe Rousselot	
音楽	ジャン・ピエール・ルー		
出演	フレッド・ウォード	Fred Ward	ヘンリー・ミラー
	ユマ・サーマン	Uma Thurman	ジューン・ミラー
	マリア・デ・メディロス	Maria de Medeiros	アナイス・ニン
	ケヴィン・スペイシー	Kevin Spacey	
	ジャン＝フィリップ・エコフェ	Jean-Philippe Ecoffey	
	リチャード・Ｅ・グラント	Richard E. Grant	
	フアン・ルイス・ブニュエル	Juan Luis Bunuel	
	フェオドール・アトキン	Feodor Atkine	
	モーリス・エスカルゴ	Maurice Escargot	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.